

## 入札監理小委員会における審議結果報告

### 国立研究開発法人科学技術振興機構の外国人研究者宿舎生活サポート等業務

国立研究開発法人科学技術振興機構の外国人研究者宿舎生活サポート等業務について、当該民間競争入札実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

#### 1. 事業概要について

##### (1) 事業の概要（資料B-1）

###### ○ 事業概要

我が国の研究機関等において研究活動を行う外国人研究者及びその家族を対象に宿舎（「二の宮ハウス（つくば市）」「竹園ハウス（つくば市）」）及び各種支援サービスを提供し、研究者が円滑に生活を開始し、研究活動に専念できる環境を整備することを目的として、統括業務、窓口業務、入居受付業務、生活支援及び交流促進業務、居室設備・備品維持管理業務、経理・庶務業務及びその他の管理業務を行う。

###### ○ 実施施設

###### ・ 二の宮ハウス（つくば市二の宮 1-6-2）

規模構造：地下 1 階地上 9 階 SRC 造（一部 RC 造）（延床面積 18,298.36 m<sup>2</sup>）

宿泊施設：1LK 104 室、1LDK 71 室（付帯施設：管理事務室、集会室、交流サロン等）

###### ・ 竹園ハウス（つくば市竹園 2-20-4）

規模構造：地上 7 階 RC 造（延床面積 2,598.78 m<sup>2</sup>）

宿泊施設：1人用 1LDK 24 室、2人用 1LDK 6 室、家族用 2LDK 6 室（付帯施設：管理事務室、集会室等）

###### ○ 事業期間等

令和 2 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの 3 年間（第 2 期）

##### (2) 選定の経緯等

平成 23 年 12 月及び平成 24 年 12 月の施設・研修等分科会、監理委員会において、外国人研究者宿舎管理運営（施設維持管理、生活支援、国際交流事業）の 1 者応札等について審議された。

平成 25 年 6 月の基本方針において、「管理運営（施設維持管理等）」と「生活サポート（生活支援、国際交流事業）」の 2 事業に分割し、「管理運営（施設維持管理等）」のみ事業選定を行った。※平成 26 年度～平成 28 年度の 3 年間で市場化テストを実施し、平成 28 年度の事業評価において終了プロセスへ移行（終了（1））

平成 26 年 6 月の基本方針において、「生活サポート（生活支援、国際交流事業）」を事業選定し、平成 29 年度から令和元年度までの 3 年間（第 1 期）で市場化テストを実施したが、競争性に課題が認められ市場化テストを継続の事業評価を受けた。

## 2. 事業の評価を踏まえた対応について

### 【論点】

1 者応札が継続しており競争性の確保が課題

- ・他の法人等が実施する類似の業務の入札参加事業者等の入札参加を促すための改善が必要

### 【対応】

- ・入札説明会の開催について、つくば市に加えて東京都内で開催する。  
(資料2-2、6頁)
- ・類似の業務を実施する機関等へのヒアリングを行い、その結果を踏まえ、入札参加の可能性のある事業者等に対して入札説明会への参加を働きかける。
- ・入札参加を検討する事業者に対して詳細な業務内容がわかるように、過去の業務完了報告書の閲覧を可能とする。  
(資料2-2、39頁)

## 3. 実施要項（案）の審議結果について

### 【論点】

「従来の実施状況に関する情報の開示」において、従来の実施に要した経費として委託費等の総額のみが開示されているが、委託費等の内訳として、人件費や物件費などの内訳を開示する工夫が必要

### 【対応】

従来の実施に要した経費の委託費等の内訳として、注記事項として「委託費の内訳」を追加し、人件費、施設維持管理費、交流促進費、運営経費、備品費、消費税相当額及び一般管理費として記載

(資料2-2、25頁)

## 4. パブリック・コメントの対応について

令和元年9月19日から10月3日まで実施されたパブリック・コメントにおいて、意見等は寄せられなかった。

以上